

【TF1】2021(令和3)年度当初の取組予定

【タスク別基本方針書】タスクフォース1：参画人口拡大

区分	内容
名称(分野)	スポーツ参画人口の拡大、スポーツを通じた多様性のある社会の実現
メンバー	知事直轄組織 多文化共生課、くらし環境部 男女共同参画課 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課、私学振興課、大学課 健康福祉部 長寿政策課、こども未来課、障害者政策課、健康増進課 教育委員会 健康体育課、義務教育課
重点対象者	乳幼児、児童・生徒(小・中・高)、 社会人(特に女性)、高齢者、障害のある人
プラットフォームプレイヤー	乳幼児の保護者、学校・地域のスポーツ指導者、企業経営者、市町、県
目標 (2021年度)	<p>〈スポーツ参画人口の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人の週1回以上のスポーツ実施率:65% 新体力テストの記録が全国平均を上回る割合 100% <p>〈スポーツを通じた多様性のある社会の実現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県障害者スポーツ大会出場者数 3,500人(2021年度) 成人女性の週1回以上のスポーツ実施率:65%
目的 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 県民の誰もが、各々の年代で関心・適性に応じて、日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。 生涯にわたるスポーツライフの礎となる運動習慣、体力向上を図るため、学校や地域における子供のスポーツ機会を充実する。 誰もがスポーツに関心を持ち、親しむことができるよう、社会全体で積極的に環境を整備し、障害者スポーツの振興、女性のスポーツ参画機会の拡大を図る。
令和2年度の取組 (主な取組)	<p>○乳幼児期における運動習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期における運動習慣の確立に向けた、幼稚園やショッピングセンター等での親子運動あそび体験イベントの実施(3回) 新しい親子運動プログラムを考案、動画及びプログラムシートを作成 <p>○児童期における運動習慣の確立と体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の体力向上に向けた実技指導者派遣や、体の動かし方の指導講師の派遣等 <p>○青少年期における運動習慣の確立と体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒のニーズに応じて充実した部活動が実施できるよう中・高・特別支援学校へ外部指導者(スポーツエキスパート・部活動指導員)を派遣 <p>○成人期に地域社会や職場でスポーツに親しむためのきっかけづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に参加できるレクリエーション・スポーツの振興に向けて、県民スポーツ・レクリエーション祭を実施 企業や事業所の健康経営を推進するため具体的な目標を宣言する「ふじのくに健康づくり推進事業所」の拡大 <p>○高齢期の健康長寿の為のスポーツ推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康長寿の3要素(食生活・運動・社会参加)を普及するための「ふじ33プログラム」の実施 スポーツや文化活動を通じた健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを推進するための、すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催(参加選手2,630人 R3.2月末時点)、全国健康福祉祭(ねんりんピック)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により1年延期 <p>○障害のある人のスポーツ参画推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツの振興に向けたスポーツ用具貸与、指導員派遣、スポーツ教室の開催、指導員養成等 静岡県ブレードランニングクリニックの開催 わかふじ大会開催(4競技 454人) <p>○女性のスポーツ参画の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性をターゲットとしたリモートによるヨガ教室開催 隙時間を活用し手軽に行えるエクササイズ「筋肉ふじのくに体操」をSNSで発信

課題	課題解決に向けた取組
<p>＜短期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じたスポーツ継続に向けた乳幼児期の運動(体を動かす)習慣づくり 競技経験のない教員等の負担などが課題となり専門的指導が可能な指導者が不足 <p>・仕事や子育て等でスポーツ機会が少ない世代に対するスポーツの習慣づくり</p> <p>・健康長寿に向けた高齢者スポーツの振興</p> <p>・東京2020パラリンピックを契機とした障害者スポーツへの理解促進</p> <p>・20代、30代の女性のスポーツ実施率を向上させるための環境の整備</p>	<p>＜短期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ショッピングセンターや地域の児童館、子育て支援施設等での親子運動遊び普及 部活指導員配置、外部指導者派遣、人材バンク活用等による部活動指導充実、顧問教員の負担軽減 事業所等の職場における健康づくりの取組支援、レクリエーション指導者の派遣 すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催やねんりんピックへの選手団派遣、高齢者の健康づくり 県障害者スポーツ大会の開催、パラサイクリング県大会、パラサイクリング練習・体験会及びパラサイクリングサポーター養成講習会の開催 パラスポーツの体験を通じ、パラスポーツの魅力を広く企業・県民に周知・普及する「静岡県パラスポーツ運動会」の開催 スポーツ教室やイベントでの託児等、女性が参加しやすい環境づくり
<p>＜中長期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動機会が少ない子が、スポーツに取り組みやすい態勢づくり 少子化の影響等により、学校の教員だけでは運営が困難となる中・高校生の学校部活動への対応 障害者スポーツを応援する県民意識の醸成と、障害者スポーツの裾野拡大 	<p>＜中長期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> (激しい身体活動を伴わず)誰でも楽しむことができるニュースポーツ等の普及 学校部活動を補完する地域型部活動の普及 障害者スポーツを支援・指導できる指導者育成、障害特性に応じたスポーツ指導員の養成・確保



<p>＜令和3年度の達成目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ショッピングセンターや、地域の児童館、子育て支援施設等での親子運動遊び(6件) 高校部活動等への部活動指導員配置(43件)、スポーツエキスパート派遣(97件)や人材バンクの活用による学校スポーツ支援(登録指導者数1,000人) 企業等へのレクリエーション指導者派遣(3件) すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催及びねんりんピックへの静岡県選手団派遣(10月30日～11月2日 岐阜県) パラサイクリング県大会(年1回)、パラサイクリング練習会・体験会(年3回)、パラサイクリングサポーター養成講習会(年2回)開催 市町等が実施するスポーツ教室や、スポーツイベント等での託児等実施への支援(3件) 学校部活動を補完する地域部活動の実践研究

【タスク別基本方針書】タスクフォース2：「人材」と「場」

区分	内容
名称(分野)	「人材」と「場」の充実(スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実)
メンバー	スポーツ・文化観光部 大学課、私学振興課、スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課、健康増進課 交通基盤部 管理局政策監、公園緑地課 教育委員会 財務課、健康体育課
重点対象者	スポーツをする機会が少ない、希望する競技を実施できない県民 スポーツ施設設置者
プラットフォーム	各市町(公共スポーツ施設設置者)、民間スポーツ施設設置者、 各市町体育協会、総合型地域スポーツクラブ運営者、スポーツ推進委員、 静岡県スポーツ協会(スポーツ人材バンク管理者)
目標:2021年度 (現状値)	県立水泳場及び富士水泳場の利用者数 年間31万人以上(2019年度:年間28万人) 県武道館の利用者数 年間31万人以上(2019年度:年間25万人)
目的・ 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が主体的にスポーツに参画するために、地域においてスポーツ活動を支える指導者や専門スタッフ、審判員等、スポーツに関わる人材の育成を図るとともに、地域の既存施設の有効活用等により、安全にスポーツ活動を行うことができる空間をできる限り多く提供する。 ・スポーツ指導者、スポーツ施設の充実を図るとともに、地域スポーツクラブの質的充実を図るために中間支援組織による相談体制や、登録、認証等の制度の整備を促進する。 ・まちづくり・地域活性化を推進する「地域スポーツコミッション」の活動を支援する。
2年度の取組 (主な取組)	<p>○スポーツに携わる多様な人材の育成と活躍の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町スポーツ主管課長、市町スポーツ担当者への研修を実施(新型コロナウイルスの影響により中止) ・総合型地域スポーツクラブ代表者への研修を実施(1回) ・県スポーツ推進委員連絡協議会への助成 ・県内幼稚園等への指導者派遣(3回)、アピタ・イオンでの親子遊び普及イベント実施(新型コロナウイルスの影響により中止) ・スポーツ少年団交流大会の開催(2回)、日独スポーツ少年団交流の実施(新型コロナウイルスの影響により中止) ・ふじ33プログラムの推進による健康寿命の延伸 ・スポーツ人材バンクの活用 ・トップアスリート等を中学校部活動へ派遣 <p>○地域スポーツクラブの担い手となる地域スポーツクラブの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域スポーツセンター業務の実施 ・総合型地域スポーツクラブ会員による交流会の実施(1回) ・各スポーツ産業振興協議会との連携 <p>○多くの人がスポーツに親しむことができる場の提供・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設、各学校の施設管理運営費による適正管理 ・指定管理者によるスポーツ施設での教室等の充実 ・県営都市公園の適正管理 ・施設の安全点検結果に基づく改修工事の実施 ・小笠山総合運動公園の芝生広場3面にラグビーゴールを整備し、同時に5面使用できる環境を実現 ・安全な走行空間の提供を目的とした、県管理道の矢羽根型路面表示延長(275*_㎡/2020年度)

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技の入口からトップアスリートまで各段階で効果的な指導ができる人材の確保 ・民間スポーツ施設の情報不足による不明確な地域のスポーツ機会の提供状況 ・民間スポーツ施設を含むスポーツ指導者の不明確な充足状況 ・コロナ禍で停滞したスポーツ機会の充実 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団における段階・個性に応じた指導 ・公共・民間スポーツ施設の配置、活動状況を関係団体と情報共有 ・スポーツ人材バンクの登録状況を調査 ・地域活性化に成功している総合型地域スポーツクラブや市町への訪問調査 ・総合型地域スポーツクラブの活動状況や地域連携状況を調査 ・総合型地域スポーツクラブの活動支援
<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブでの有資格者による、年齢、性別を問わずスポーツ活動を継続して行うための指導 ・市町や民間団体がカバーできていない地域への公的支援方策の検討 ・学校を対象としているスポーツ人材バンクの地域スポーツへの活用 ・合理的な施設活用への情報共有 	<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの機能強化 ・人材バンクの充実に向けた連携強化 ・老朽化施設の対応や学校再編などを含めた地域として効率的な施設活用ポリシーの作成



<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア世代選手の指導者に対する研修の実施 ・学校体育施設を含む公共スポーツ施設の情報と、民間スポーツ施設の調査結果を基にした民間施設の配置状況を関係団体と情報共有 ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援を関係団体と連携 ・中間支援組織による総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の整備を支援 ・施設と指導者の情報を関係団体と共有 ・優れたスポーツクラブの経営方法について関係団体と情報を共有 <p><中長期的な達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や民間団体がカバーできていない地域への公的支援・モデル事業の展開 ・市町広域連携、官民連携といったネットワーク形成による地域のスポーツ環境支援体制の構築

【タスク別基本方針書】タスクフォース3：地域活性化

区分	内容
名称(分野)	地域活性化(スポーツを通じた地域の活性化)
メンバー	知事直轄組織：地域外交課、危機管理部：危機情報課、経営管理部：地域振興課、スポーツ・文化観光部：スポーツ政策課・スポーツ振興課・OP推進課・観光政策課・観光振興課・空港振興課、経済産業部：商工振興課、教育委員会：健康体育課
重点対象者	県民全般、スポーツ関連団体、観光関連団体
プラットフォーム	市町、観光協会、地域DMO、競技団体、西部スポーツ産業振興協議会、サイクルスポーツ聖地づくり地域実践団体、TSJ等
目標(2021年度)	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催を契機にスポーツを活用した多様な交流や産業の振興を推進(スポーツ・レクリエーション交流人口 3,500万人)
目的・取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 県内のスポーツ資源を活用した交流促進を通じて、地域活性化を図るため、県内の状況調査、先進事例の県内事業者等への周知、県内のスポーツに関する施設や宿泊等の情報の国内外への発信を実施 県内スポーツ産業の振興のため、産官学が協働して新たなニーズの開拓や産業化を図る。
令和2年度取組(主要事業)	<p>○世界的スポーツイベントを契機とした地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック(オリパラ)関連事業 おもてなし：都市ボランティア募集、研修、シティキャスト通信の発行(月1回)、イベント等での活動・検証 サイクリングWebスタンプラリー、日本代表内定選手激励会、伊豆半島・東部地域20市町の住民参画による機運醸成 など ラグビー聖地化推進事業 エコバラグビー場5面化によるスポーツ合宿誘致、ラグビー周年イベント ほか サイクルスポーツ県づくり事業 サイクルスポーツの県づくりによるサイクルスポーツの聖地創造(聖地創造会議1回、幹事会2回、部会各2回、市町連絡会3回) サイクルスポーツ県づくり協働事業費 地域の実情に応じたサイクル関連事業を実施(県内4地域) <p>○スポーツを通じた多様な交流推進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流推進事業 大規模スポーツイベントの開催(富士山女子駅伝 無観客開催) 静岡県市町対抗駅伝等への支援、ビーチ・マリンスポーツに係るHP立ち上げ サイクルスポーツ県づくり事業(再掲) サイクルツーリズムの推進、台北サイクルオンライン出展 スポーツの力で県民元気事業 県内プロスポーツチームの広報担当者会議開催によるネットワーク構築 県民スポーツ普及啓発(SNS動画再生回数16,257回、テレビ放映24回、ラジオ放映66回) <p>○スポーツ産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品企画定着促進事業費補助金 国内外からの旅行需要を取り込み、来訪者の滞在期間の長期化や観光消費額の増大を図るための取組を支援(3件)(富士山トレッキングガイド商品造成事業ほか) スポーツ産業振興協議会による活動 理事会、運営会議等を通じた運営への参画 ほか

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラ大会成功に向けた機運醸成 スポーツ合宿の受入態勢、誘致の推進 オリパラ、RWCのレガシー 地域のスポーツ資源の活用 スポーツイベントへのボランティア参加促進 サイクルを通じた国際交流の促進 スポーツ関連産業の創出 スポーツツーリズム、アウトドアツーリズムの推進 スポーツツーリズムへのスポーツ観戦の活用 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラレガシーの創出 RWCレガシーの創出 スポーツ合宿、大会誘致 スポーツツーリズムの推進 スポーツ産業の裾野拡大 本県が優位性を発揮できるスポーツへの関与 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> 選手激励会等による機運醸成 テストイベント、全日本ロード選手権等を活用した観戦勧奨 県内合宿地の調査、展示会出展支援 合宿誘致の体勢、スポーツ資源(練習・宿泊施設等)を調査 市町等と協働した展示会でのセールス オリパラ都市ボランティアに対し、その他のスポーツイベントへのボランティア参加促進 イタリア フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州行政団受入及び台湾との交流 IT企業等と連携したアスリートの強化活動支援を通じた関連産業の振興 東中西スポーツ産業振興協議会の交流・情報交換 県モデルルートを活用したサイクルツーリズムの推進及び誘客促進活動の支援 スポーツ観戦を目的とするツーリズムの可能性を検討 <p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> オリパラ会場を活用した新たな自転車大会誘致 地域密着型自転車チームの育成 アザレアスポーツクラブの活動支援 女子セブンス大会等の誘致 市町と連携したスポーツ合宿・大会誘致 ニーズに合わせたサイクルツーリズムの推進 サイクルツーリズムへのe-BIKE活用 スポーツ産業振興協議会の取組発信 他県と差別化を図ることができるスポーツ種目の検討、普及、活用策の検討 新たなプロスポーツチームの誘致

<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 合宿誘致の推進を通じた、スポーツに関する静岡ブランドのセールス方法確立(展示会出展1回) サイクリングを通じた国際交流の推進 競技団体、部活動等に対するスポーツにおけるIT活用事例の周知 <p><中長期的な達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ・レクリエーション交流人口 3,500万人 静岡県自転車活用推進計画に基づくサイクルツーリズムの推進等を通じた地域活性化 オリパラレガシーとしての新たな自転車競技大会の開催 RWCレガシーとしての女子セブンス大会等の開催 オリパラ・RWCの事前合宿地を中心に、様々なスポーツの合宿地として定着することによるレガシー創出

【タスク別基本方針書】タスクフォー4：競技力向上

区分	内容
名称(分野)	競技力向上(競技力の向上) クリーン&フェア(クリーンでフェアなスポーツの推進)
メンバー	スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 健康福祉部 障害者政策課 教育委員会 健康体育課
重点対象者	各競技団体(陸上、サッカー、テニス、バレー、バスケット、卓球、野球、水泳、山岳、体操、ハンドボール、自転車、ラグビー、柔道、相撲、ソフトテニス、弓道、レスリング、セーリング、ボート、バドミントン、ソフトボール、スキー、クレ射撃、ボクシング、フェンシング、スケート、剣道、ホッケー、ウェイトリフティング、ライフル射撃、馬術、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、カヌー、なぎなた、アイスホッケー、ゴルフ、トライアスロン)に所属するスポーツ選手(トップアスリート)、ジュニア選手、スポーツ指導者等
プラットフォーム	(公財)静岡県スポーツ協会競技力向上委員会、各競技団体、学校・地域のスポーツ指導者、県、民間企業(アスリート雇用企業)
目標(2021年度)	・国民体育大会における総合成績8位以内
目的・取組方針	・オリンピック・パラリンピックをはじめとする各種の国際大会や、国民体育大会等の全国大会において、優れた成績を上げ、県民に夢と希望と感動を与えるアスリートを増加させる。 ・ジュニア期からトップレベルまでの体系的な人材育成と、指導者の資質の向上等の環境整備により、競技力の向上を図る。 ・スポーツ団体における組織運営の透明性を確保する。 ・競技団体・アスリート等に対するフェアプレイ精神の涵養、ドーピング防止活動の充実等により健全なスポーツ社会の実現を図る。
令和2年度取組(主要事業)	○ジュニア世代の育成 ・スマートフォン・アプリを活用したゲーム分析(静岡産業大学・スプライズ等) ・ジュニア選手育成を目的としたトレセン方式、強化拠点方式、指定校・クラブ方式での競技力向上策への支援(39競技) ・ジュニアのトップ選手育成のための県内中学・高校の運動部活動の支援 ・中学生を対象とするトップアスリートによるクリニック(3回) ・ジュニアアスリートの選考会(適性診断)、競技体験(チャレンジスポーツ教室)、アスリートとの交流(ビクトリークリニック) ・国体及び国体ブロック予選を勝ち抜くための強化活動や器具整備等への支援(41競技) ○トップアスリートの育成 ・トップアスリートの強化活動の支援(9競技30人) ・東京2020オリ・パラ指定強化選手への支援(オリンピック21人、パラリンピック18人) ・国体クラスのアスリートの県内定着を目指した企業とアスリートのマッチング支援 ・国体出場選手や指導者、アスリート雇用企業等からのヒアリング ○指導者の資質向上 ・資格取得や中央競技団体主催の講習会等への参加促進によるスポーツ指導者のスキルアップ支援 ・競技団体の強化選手等に対するフィジカルチェックやメンタルトレーニングなどのスポーツ医・科学活用 ・国体結果に基づく競技団体別の分析調査 ・準高地トレーニング実証実験(裾野市スポーツツーリズム推進協議会・静岡大学・順天堂大学等) ・外部より世界クラスの優秀指導者を招聘し、競技団体の指導体制強化を支援

課題	課題解決に向けた取組
<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的・効率的な活動を指導するための運動部活動顧問の質の向上 東京2020オリンピック・パラリンピックへの多くの県関係アスリート出場 競技団体別分析であげられた団体ごとの課題(活動場所確保等)への対応 選手の強化活動や指導を補完するIT技術やスポーツ医・科学の導入 質の高い指導ができる指導者の確保、高齢化している指導者の世代交替 	<p><短期></p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体や中・高体連と連携した、効果的・効率的指導のための指導者の資質向上 東京2020オリンピック・パラリンピックの県指定強化選手への支援 スポーツ指導へのIT技術や、医・科学の導入実験(※以下は中長期期的視点で3年度以降も継続実施) (公財)静岡県スポーツ協会と連携したジュニア育成・強化事業の充実(競技者の裾野拡大)、育成年代の指導者の資質向上 部活動生徒に対するトップアスリート派遣によるクリニック 全国大会上位入賞を目指し、中・高体連等と連携して参加チームや個人を支援 競技団体等が行う強化活動等への継続的支援・検証 <ul style="list-style-type: none"> 競技特性に応じた方式でのジュニア育成・強化 国際試合等を通じたジュニア選手の強化 トップアスリートを雇用する県内企業への支援 国体本大会やブロック大会に向けた強化 本県競技力の柱となるトップアスリートへの支援 指導者のスキルアップのための資格取得支援や、講師を招聘しての研修 世界クラスの指導者を招聘し指導者資質向上と指導体制強化を図る競技団体への支援
<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> 競技力底上げに向けた裾野拡大に資するジュニア世代の発掘・育成 より高い競技力を求める部活動・生徒の対応 各種全国大会等での活躍が期待できるトップアスリートの継続的な確保 アスリートに生涯を通じた活動の場として選ばれるような競技環境の整備と、社会機運の醸成(企業のアスリートサポート、わがまちスポーツ等) 国体8位を補完する競技力の向上の目標(値)の検討 	<p><中長期></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町等とも連携した競技団体別の拠点施設の確保・整備検討



<p><令和3年度の達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会における天皇杯8位(競技力の充実)(②大会延期、㊟17位、㊟19位) <p>三重国体(2021年)は(予選を要さない)三重県を除く東海3県でブロックの予選となり、本国体出場競技数、それに伴う本国体入賞競技数が増える可能性が高いため、三重国体での入賞(8位)を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> トップアスリートを雇用する県内企業への支援(新規10件)と雇用された選手が活動しやすい環境づくりの支援、関係企業等との良好な関係の構築及び次年度に向けた、本県において競技活動の継続を希望するアスリートについての競技団体と連携した情報収集 <p><中長期的な達成目標(年度)></p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック(2020年)に本県関係者85名以上の出場 アスリート雇用支援事業で雇用した選手の本県選手、本県指導者としての定着
--

2020年度の取組の総括

各タスクの2020（令和2）年度 達成目標に対する実績（総括表）

TF	アクションプランに掲げた2020（令和2）年度の達成目標	目標の達成状況（実績）			
1 参画人口の拡大	・ ショッピングセンターや、地域の児童館、子育て支援施設等での親子運動遊び	18件	14件	●	県が実施主体となって、直接実施する事業や市や企業が実施する事業に対する補助など実施を予定していた事業について、新型コロナウイルス感染防止の観点から事業を中止したものもあるため、目標に及ばなかったものがある。
	・ 高校部活動等へのスポーツエキスパート派遣	110人	112人	◎	
	・ 人材バンクの活用による学校スポーツ支援（登録指導者数）	1,000人	644人	●	
	・ 事業所等が行う従業員やその家族、地域住民を対象とした健康づくり活動への支援	60件	29件	●	
	・ 企業等へのレクリエーション指導者派遣（5件）	5件	0件	●	
	・ すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会実施・ねんりんピックへの静岡県代表選手派遣	実施	実施	○	
	・ パラスポーツ体験機会の提供	10回	1回	●	
	・ 市町等が実施するスポーツ教室や、スポーツイベント等での託児等実施への支援	5件	1件	●	
	・ 市町のスポーツ関係者も多く集まる市町村駅伝でのニュースポーツの普及・啓発	実施	実施	○	
・ 学校部活動を補完する地域型スポーツクラブ設置についての検討・スキームづくり	検討	検討	○		
2 人材と場の充実	・ 学校体育施設を含む公共スポーツ施設の情報と民間スポーツ施設の調査結果を基にした民間施設の配置状況を関係団体と共有	実施	○	情報共有等は概ね実施できたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から現地視察や会議開催時期の延期などがあった。	
	・ 中間支援組織による総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の整備を支援	実施	○		
	・ 施設と指導者の情報を関係団体と共有	未実施	●		
	・ 優れたスポーツクラブの経営方法について関係団体と情報を共有	未実施	●		
3 地域活性化	・ 合宿誘致の推進を通じたスポーツに関する静岡ブランドのセールス方法確立（展示会出展1回）	3回	○	コロナウイルスの影響で国際交流のは実施できなかったが、展示会は説明者を雇用するなどにより推進した。	
	・ サイクリングを通じた国際交流の推進	未実施	●		
	・ 競技団体、部活動等に対するスポーツにおけるIT活用事例の周知	実施	○		
4 競技力向上	・ 国民体育大会における天皇杯10位代前半（10位代前半を常時確保できる競技水準）	延期	—	国体については新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった。アスリート雇用支援は昨年から2件増え、8件になった。徐々に事業が企業へ浸透してきた。	
	・ トップアスリートを雇用する県内企業への支援（10件）	8件	●		
	・ 雇用された選手が活動しやすい環境づくりの支援、関係企業等との良好な関係の構築	実施	○		
	・ 次年度に向けた情報収集	実施	○		

○予定していた目標を達成した取組

◎予定していた目標以上となった取組

●予定していた目標が達成できなかった取組

【参考】スポーツ推進計画指標の状況

令和2年度末のスポーツ推進計画目標の状況は下表のとおりとなっています。

	課題分野	目標値	2021年度 目標	2017年度 (H29年度)評価	2018年度 (H30年度)評価	2019年度 (R元年度)評価	2020年度 (R2年度)評価	備考
I	スポーツ参画人口 の拡大	成人の週1回以上の スポーツ実施率	65.0%	53.9%	52.9%	54.5%	59.9%	スポーツの実施状況等に関する世 論調査(H29 静岡県教育委員会・ H30～スポーツ庁)
		新体力テストの記録が 全種目において 全国平均を上回る割合	100%	75.5%	68.6%	59.3%	65.7%	全国体力・運動能力・運動習慣等調 査(スポーツ庁)
II	スポーツ環境の 基盤となる「人材」 と「場」の充実	県立水泳場及び富士水 泳場の利用者数	310千人	㉘ 280千人	㉙ 304千人	㉚ 303千人	R元 284千人	スポーツ振興課調べ
		県立武道館の利用者数	310千人	㉘ 309千人	㉙ 283千人	㉚ 305千人	R元 250千人	スポーツ振興課調べ
III	スポーツを通じた 多様性のある社会 の実現	静岡県障害者スポーツ 大会への参加者数	3,500人	2,859人	2,930人	2,902人	454人	静岡県障害者スポーツ協 会調べ
		成人女性の週1回のス ポーツ実施率	65.0%	53.8%	52.9%	52.8%	58.3%	スポーツの実施状況等に関する世 論調査(スポーツ庁)
IV	スポーツを通じた 地域の活性化	スポーツ・レクリ エーション交流人口	3,500万人	㉘ 2,777万人	㉙ 2,693万人	㉚ 2,703万人	R元 2,588万人	静岡県観光交流の動向 (観光政策課)
		東京2020オリンピックパラリンピック 大会運営ボランティア登録者数	2020年度 2,500人	918人	962人	852人※	R3.1月現在 924人※	オリンピック・パラリンピ ック推進課調べ
V	競技力の向上	国民体育大会に おける総合成績	8位以内	17位	19位	17位	- (新型コロナウイルス感染症の 影響により延期)	第74回国民体育大会成績 一覧
		東京2020オリンピック・パラリ ンピック出場の本県関係者数	2020年度 五輪50 パラ35	-	-	-	-	

■ 「VI. クリーンでフェアなスポーツの推進」は目標値設定なし

※は都市ボランティアの人数。大会ボランティアは別途集計(R2.3以降役割及び会場が決定)

スポーツ実施率はスポーツ庁の発表による都道府県別 スポーツ実施率の週1回以上の比率 (R3.2.未公表予定)

スポーツの聖地づくり 概要版

1 スポーツの聖地づくりの推進体制

多くの部局が関与する複合的な領域である
スポーツ行政を部局横断で総合的に推進

○計画概要(H30.3改定)

名称	第2期静岡県スポーツ推進計画
位置付け	・国のスポーツ基本計画を参酌し地方の実情に即して策定 ・静岡県新ビジョンの分野別計画
基本理念	「スポーツの聖地づくり」 スポーツをやりたいと思った時に、いつでも、どこでもスポーツができる環境が整っていること（ソフト、ハード共に）

○スポーツの聖地づくり総合推進プロジェクトチーム

設立趣旨 (H30.10)	基本理念「スポーツの聖地づくり」を実現するため、目標に向けたイメージ共有と、施策推進に必要な調整を行う
構成員	プロジェクトリーダー：出野副知事・土屋特別補佐官 タスクフォース(TF)リーダー：スポーツ担当部長 構成員：関係局長
R2年度 開催実績	実務者会議（10月）：R3当初予算調整 TF会議（3月）：取組状況等を共有

2 スポーツ推進計画指標の状況

- 「成人の週1回以上のスポーツ実施率」、「成人女性の週1回のスポーツ実施率」は、目標値65%に向け、進捗が遅れが見られる。
- 「静岡県障害者スポーツ大会への参加者数」や「県立水泳場等の利用者数」、「スポーツ・リクリエーション交流人口」は、RWC2019の成功、東京オリパラを控え、県民のスポーツに対する関心や意欲が高まったが、コロナ禍により県内スポーツ大会が中止したこと等から減少
- 「国民体育大会における総合順位」は、昨年度は17位となり、向上が見られたものの強化・育成途上にある。

TF	課題分野	目標値	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 目標値	前年度比較 評価
I	参画人口の 拡大	成人の週1回以上のスポーツ実施率	54.5%	※確認中	65.0%	-
		新体カテストの記録が全種目において全国平均を上回る割合	59.3%	65.7%	100%	↗
	多様性のある 社会の実現	静岡県障害者スポーツ大会への参加者数	2,902人	454人	3,500人	↘
		成人女性の週1回のスポーツ実施率	52.8%	※確認中	65.0%	-
II	「人材」 「場」の 充実	県立水泳場及び富士水泳場の利用者数	303千人	R元 284千人	310千人	↘
		県立武道館の利用者数	305千人	R元 250千人	310千人	↘
III	地域の 活性化	スポーツ・レクリエーション交流人口	2,703万人	R元 2,588万人	3,500万人	↘
		東京2020オリンピック・パラリンピック大会 運営ボランティア登録者数	852人※	R3.1月 924人※	2020年度 2,500人	↗
IV	競技力の 向上	国民体育大会における総合成績	17位	-	8位以内	-
		東京2020オリパラ出場 の本県関係者数	-	-	五輪50、 パラ35	-

※は都市ボランティアの人数のみ。大会ボランティアは別途集計

3 各タスクフォースの主な取組（令和2年度）

TF1 参画人口の拡大

- 東京2020公認プログラム『静岡県ブレードランニングクリニック』の開催
- 女性をターゲットとしたリモートによるヨガ教室開催
- ショッピングセンター等での親子運動遊びのイベント
- すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会実施・ねりんピックへの静岡県代表選手派遣
- わかふじスポーツ大会の開催
- 静岡県障害者スポーツ大会等の開催 等



ブレードランニングクリニック

TF2 人材と場の充実

- トップアスリート等を中学校部活動へ派遣
- スポーツ施設、各学校の施設管理運営費による適正管理
- 県営都市公園の適正管理
- 指定管理者によるスポーツ施設での教室等の充実
- 小笠山運動公園でのラグビー環境の整備 等



トップアスリート派遣

TF3 地域活性化

- 合宿誘致の推進を通じたスポーツに関する静岡ブランドのセールス
- RWC2019静岡県開催による有形・無形の成果をレガシーとして次世代に継承
- オリパラレガシーの推進（トレーニングヴェレッジ構想、国際大会の誘致・誘致など） 等



スポーツ合宿展示会出展

TF4 競技力の向上

- 医科学（準高等等）の活用、ICTを活用した競技力強化
- トップアスリート等を正規雇用し、アスリート活動を支援する県内企業への支援
- 世界クラスの指導者の招聘による指導者資質向上及び指導者体制強化 等



ICTを活用した競技力向上

サイクルスポーツの聖地づくり 概要版

1 サイクリストの聖地づくり

- ・東京オリ・パラ大会のレガシーとして**官民協働**でサイクルスポーツに親しめる環境を整備
- ・県、市町、民間団体が一体で取組を進めるため「**サイクルスポーツの聖地創造会議**」を設立 (H30.4設立/議長 知事)
- ・聖地創造会議は、「競技振興部会」「サイクルツーリズム・走行空間整備部会」「裾野拡大・安全部会」の3部会を設置



2 取組状況

- ・平成28(2016)年度から官民協働の取組により、サイクリストの受入態勢を整備
- ・ハード・ソフトの施策を総合的に進める指針となる静岡県自転車活用推進計画を平成31年3月に策定 (計画期間：2019年度～2021年度)

計画の柱	指標	現状値	2020実績	目標値
競技振興	国際公認レースの競技種目数	3種目 2018年	0種目 2020年 ※	4種目 2021年
	自転車競技連盟登録選手	376名 2017年度	4月以降 公表	400名 2021年度
サイクル ツーリズム	国認定モデルルート数	0ルート 2017年度	4ルート 2020年度	4ルート 2021年度
	バイクピット数	303箇所 2017年度	542箇所 2020年度	500箇所 2021年度
	e-BIKEレンタル台数	41台 2017年度	209台 2020年度	200台 2021年度
裾野拡大・ 安全	自転車分担率	13.9% 2015年	調査延期 ※	14.7% 2020年
	自転車乗車時の人身事故発生件数	3,992件 2018年	3,015件 2020年	減少 2021年
走行空間 整備	走行空間整備延長 (矢羽型路面表示)	約83* 2017年度	約275* 2020年度	約276* 2021年度
	自転車活用推進計画策定市町	0市町 2017年度	4市町 2020年度	35市町 2021年度

※新型コロナウイルス感染症の影響

3 具体的な取組

競技振興

- ジャパンMTBカップ**(仮称)の開催
- ・サイクルスポーツセンターMTB
コースを利活用した国際大会を開催
[関係市・団体と連携し、R4.3月開催
に向け調整中]



サイクルツーリズム

- 富士山チャレンジライド2020** [R2.10.10]
- ・東京2020大会の機運醸成を図るため、
2市1町をめぐるサイクリングイベント
[台風14号により中止 エントリー数264名]



- ふじのくに自転車ひろし旅2020**
- ・県スポーツ担当補佐官溝畑氏の発信力
を活用し、本県サイクリングルート
を情報発信[11.7~9 県東部：伊豆半島]



裾野拡大・安全

- 自転車通勤利用の促進**
- ・新型コロナウイルス防止の観点から、新しい生活様式として企業等の自転車利用を促進
- ・国「**自転車通勤推進企業宣言プロジェクト**」の「**宣言企業**」に静岡県認定(R2.08.27)



走行空間整備

- 自転車走行環境整備延長
- ・**県管理道の矢羽型路面表示延長**
- ・**県内整備延長275*₀(2020年度)**



ラグビー聖地化の取組 概要版

1 ラグビーワールドカップ2019の成果

- エコパスタジアムでの9月28日の日本対アイルランド戦での大金星を「シズオカ・ショック」（静岡の衝撃）と表現し、国内外の多くのメディアが絶賛



区分	県内開催(4試合分)
経済波及効果	234億円 (1試合/58.6億円)
スタジアム来場者	17.6万人
ファンゾーン来場者	11.4万人

- 大会を契機とし、ラグビー授業や教育プログラムの実施により、ラグビーが持つ道徳的価値を学校教育へとりこむことができた。
- ラグビーワールドカップ2019の取組を次代に継承するため、官民協働でラグビー聖地化検討会を設置。ラグビーの普及、指導者・ファンの拡大等を図る。

2 ラグビー聖地化に向けた方向性

次大会へ
次世代へ 継承

目指す姿

ラグビーを愛する全ての人々にとってのラグビーの聖地
・①する、②みる、③ささえる、④まなぶ、⑤楽しむの5つの視点での環境づくり

推進体制

「ラグビー聖地化検討会」を設立し官民で取組を推進(年3回)
・R2.6設立/座長 星野明宏 静岡聖光学院中・高等学校長
・アクションプラン策定、県ラグビー協会の体制強化、シズオカ・ショック月間の設定

■アクションプラン骨子(案)

①する	トップレベルを目指すことができる環境づくり
②みる	試合観戦を楽しむことができる環境づくり
③ささえる	ラグビー競技を教えることができる体制整備
④まなぶ	ラグビー精神を学ぶことができる環境づくり
⑤たのしむ	初心者でも気軽にラグビーを楽しむことができる環境づくり

3 具体的な取組

①する



R2.11 ラグビートレセン

第1回静岡県ラグビートレセン講習会には約600名が参加

②みる



トップリーグ親子観戦勸奨

日時：2021.3.14 14時～
対戦：ヤマハvsキャノン
招待：親子75組

③ささえる



オンラインによる指導者講習会

【スタートコーチ認定講習会】
・コロナ影響によりオンライン
・時期：随時（2020年度）
・人数：52人(3/8現在)
※全国で13位

④まなぶ



レガシー推進校の推進

【R2レガシー講座】
小学校29、中学校2
高校11の計42校

⑤たのしむ



R2.9 ラグビーW杯1周年

幼稚園等へのラグビーボール寄贈式、親子ラグビー教室を実施